

次世代層への理解活動について

日本が安全に豊かな暮らしのできる国であり続けるためには、これからの社会を担う世代に、エネルギーや放射線への関心と理解を深めてもらうことが重要であると考えており、当社では、日頃から青森県内の小学生から大学生に対する理解活動を積極的に実施しています。

こうした理解活動は、これまで500回以上実施しており、3万人を超える学生や生徒の皆さまに受講していただきました。

【放射線出前授業】

2006年度から実施している「放射線出前授業」では、実験を通じて自らが体験することにより、放射線に対して興味を持ち、「科学する心」を育てていただくことを目的に、放射線測定器で身近な物を測定したり、霧箱という装置を使って、普段は目に見えない放射線を観察する実験を行っています。



中学生が測定器で身近な物の放射線量を測定する様子



小学生が霧箱を使って放射線の飛跡を観察する様子

【エネルギー出前講座】

2007年度から実施している「エネルギー出前講座」では、高校生や大学生を対象に、原子力や原子燃料サイクルをはじめとしたエネルギーについて幅広く学ぶとともに、エネルギー産業への関心を高めてもらうことを目的とした講義を行っています。

六ヶ所高校では、今年から様々なエネルギー関連施設が立地する六ヶ所村の特色を生かした「エネルギー探究」という科目が設けられ、当社やグループ会社の社員が一年かけて、エネルギー全般に関して講義しています。

弘前大学では、「放射線総合科学」というカリキュラムの中で、当社や県内のエネルギー関連企業から派遣された講師が中心となって講義が行われています。八戸工業大学や八戸工業高等専門学校でも同様の講義を行っています。



六ヶ所高校でグループ会社社員が講義を行う様子



弘前大学で当社社員が講義を行う様子

引き続き、次世代層への理解活動を積み重ね、地域とともに発展する日本原燃を目指してまいります。